

(第2回)

世田谷区立砧小学校・砧幼稚園

改築基本構想見直し検討委員会 会議次第

令和6年9月12日(木) 午前10時00分～

会場：砧小学校 1階ランチルーム

【議題】

- 1 第1回検討委員会議事録の確認について
資料1 第1回世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築基本構想見直し
検討委員会議事録
- 2 第1回検討委員会資料に関する意見について
資料2 第1回検討委員会意見まとめ
- 3 基本方針について
資料3 基本方針の決定に向けて
- 4 校舎・園舎配置案及び外構計画案について
資料4 校舎・園舎配置案及び外構計画案比較資料
- 5 児童ワークショップについて
資料5 児童ワークショップ実施概要(案)
- 6 その他

第 1 回検討委員会意見まとめ

《医療的ケア児・特別支援学級への配慮について》

- 認定こども園においても医療的ケア児の受け入れが想定されるため、バリアフリーな計画とすること。
- ことばの教室には運動療育ができる少し大きめの部屋が必要。
- すまいる教室は常時 2～3 人の担任が個別指導を行うので、それぞれ指導用の小さな部屋が必要。あわせてグループ学習を行うので半スパン程度必要。

《既存百年桜や松の保存について》

- 松を内部化したエントランスデザインを検討すること。
- 松については現地での保存・移植だけでなく、別の形での継承も選択肢のひとつとして考えてみてはいかがか。

《国分寺崖線の景観、富士山への眺望への配慮について》

- 崖線上のポテンシャルを活かした、見る・見られるの関係を意識した敷地計画を検討するように。
- 地域のシンボルとしてあえてこの地に建設し、農作業をしながら学校を見上げ、子どもたちが学んでいることに喜びを感じながら仕事をしているときいている。その思いは地域からの期待として引き継いでおり、南・東・西側から見上げた時の周囲に溶け込むような緑化の工夫が必要。
- 農家の方々が未だ多く残り、代々砧小に通う家庭も多く、地域からの協力体制が盤石である。そんな方々から「コンクリートの塊がどーん見えるのだけはやめてほしい」という言葉があった。
伝統を大切にしつつ、新しいことにも挑戦してきた砧小の応援団を大切にしたい計画としてほしい。

《地域利用への配慮について》

- 100 周年記念に設置された和室(百年庵)を残すことは必須。
- 夜間・休日利用者は警備員の常駐する主事室に立ち寄るため、地域開放用出入口については配置の検討が必要。

《通学・通園動線について》

- 小学校児童の 2/3 程度が通称幼稚園門を使っている。位置が変わるにしてもスロープと階段を使つての長い動線が必要。
- 車両を校舎・園舎に横づけすることを考慮すると、雨避け等の屋根が必要。

《環境配慮について》

- 段丘上であるため、湧水保全および雨水貯留等を検討すること。（レインガーデンやルーフガーデンテラスでの雨水活用の棚田や菜園など）

《小学校の計画内容について》

- 特別教室が集中することは複数学年の往来を考えると安全で利用しやすい配置。
- 保健室・相談室・看護室を独立させて近くに配置することが好ましい。
- ほっとルームは保健室・相談室近くの配置が望ましい。南東に門を設置し（東門）、一直線で校外からの出入りができるとよい。
- 鼓笛隊の活動を鑑み、体育館横に楽器庫が必要（体育用具倉庫をあわせて）。
- 各階の手洗い・水飲み場はどこに想定しているか。
- 児童昇降口について、現在17学級で3か所の昇降口に分けている。全校児童がいつせいに校庭に出入りするときの安全・短時間な動線を確保したい。

《認定こども園の計画内容について》

- まなびの庭について、園児の活動・運動会を実施できる園庭とできるか。かわりに、小学校敷地北側を菜園スペース、ピザ窯の移築場所とできるか。
- 医療的ケア児の処置室、職員用休憩室、園長室の設置が必要。
- 預かり保育室、遊戯室、倉庫、教材室の広さが不十分と思われる。
- 体育倉庫が奥まっているため、使い勝手に懸念がある。
- まなびの庭も遊び場として自由に使用できるとよい。
- 幼稚園敷地を通過して小学校へ向かうことがないよう、セキュリティをわけること。
- 遊戯室の広さが不十分。間仕切り壁の移動で2室一体利用ができるなど、保育室以上の広さを確保できるようにすること。
- 給食室は小学校と内容が異なること、アレルギーや刻み食対応、夏季休業期間の開園等を考慮すること。
- 医療的ケア児の送迎を想定し、駐車スペースが必要。
- 集約化の影響で遠方から登園する場合を想定して、駐輪スペースが必要。

《その他》

- これまで120年にわたり継承されてきた風景資源、文化を意識したプランとし、地域の宝である子どもたちが創造的に学べるようにすること。
- 仮設園舎は登園動線に関する安全面の配慮、及びセキュリティ対策が必要。
- 学校で勤務する職員が増えているため、休憩室・更衣室等が必要。

基本方針の決定に向けて

基本方針

複合化を活かした多様な教育や子育ての拠点となる施設 【教育・子育て（Ⅰ）】

- ・ 小学校・こども園・地域の交流を促進し、思いやりのある子どもを育てる空間づくりを行います。
- ・ 多様な教育や将来の児童数の変化に対応できる、柔軟性のある計画とします。
- ・ 子どもたちの多様性に配慮し、地域の子育て支援の拠点として活用できる計画とします。

子どもたちの健康・体力の向上に寄与する施設 【生活・健康（Ⅱ）】

- ・ 広い校庭・園庭や屋上利用など、活発な活動ができる空間を確保し、子どもたちの健康・体力の向上に寄与する計画とします。
- ・ 医療的ケアを実施できるよう配慮された学校環境整備や、快適に過ごせる学習・生活空間を整備します。
- ・ ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすい計画とします。

地域とともに歩む開かれた施設 【地域・景観（Ⅲ）】

- ・ 国分寺崖線の景観や、学校の風景伝承を図り、地域と調和のとれた計画とします。
- ・ 地域開放に配慮し、「砧っ子夏祭り」などの地域活動に活用しやすい計画とします。
- ・ 既存樹を大切にするとともに、新たな樹木を植え、永く地域に親しまれる計画とします。

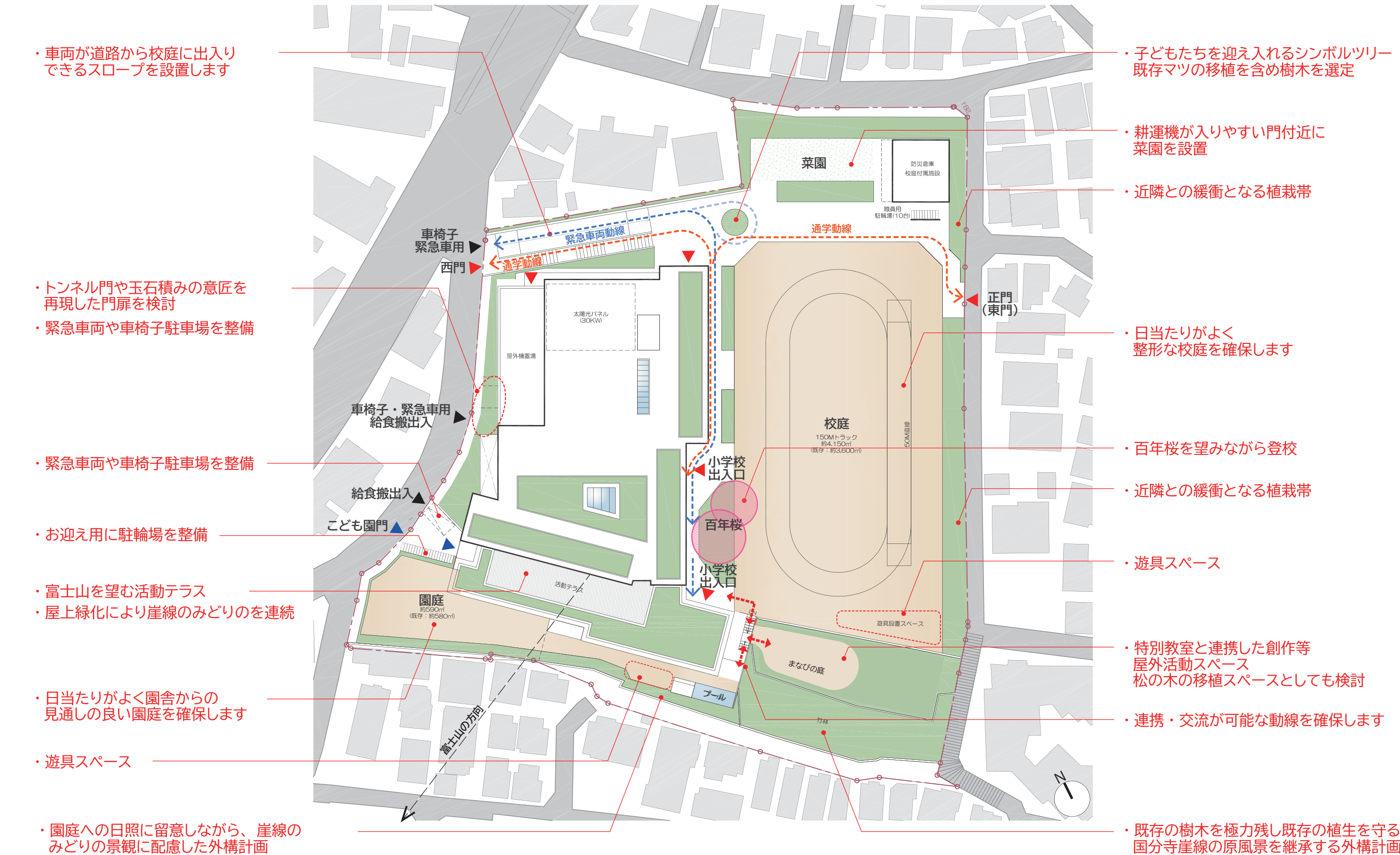
自然とのふれあいを大切にする地球にやさしい施設 【自然・環境（Ⅳ）】

- ・ 菜園や緑地の整備など、子どもたちが自然に触れられる環境を整備します。
- ・ 自然エネルギーの積極利用による環境への負荷低減を図り、ZEB 化を推進するとともに、環境配慮の「見える化」など、子どもたちが体感できる計画とします。
- ・ 木材の積極的な活用を検討し、あたたかみのある学習・生活空間を計画します。

児童と地域を守る安全安心な施設 【安全・防災（Ⅴ）】

- ・ 小学校とこども園のセキュリティ区分や動線に配慮し、適切な教室・施設配置を計画します。
- ・ 災害に強く、避難所として安心して活用できる計画とします。
- ・ 擁壁や歩道整備など地域防災に貢献する計画とします。

A 案



A 案



S=1/800



B 案

- ・車両が道路から校庭に入出入りできるスロープを設置します

- ・トンネル門や玉石積みの意匠を再現した門扉を検討
- ・緊急車両や車椅子駐車場を整備

- ・既存幼稚園門付近に西門を設置

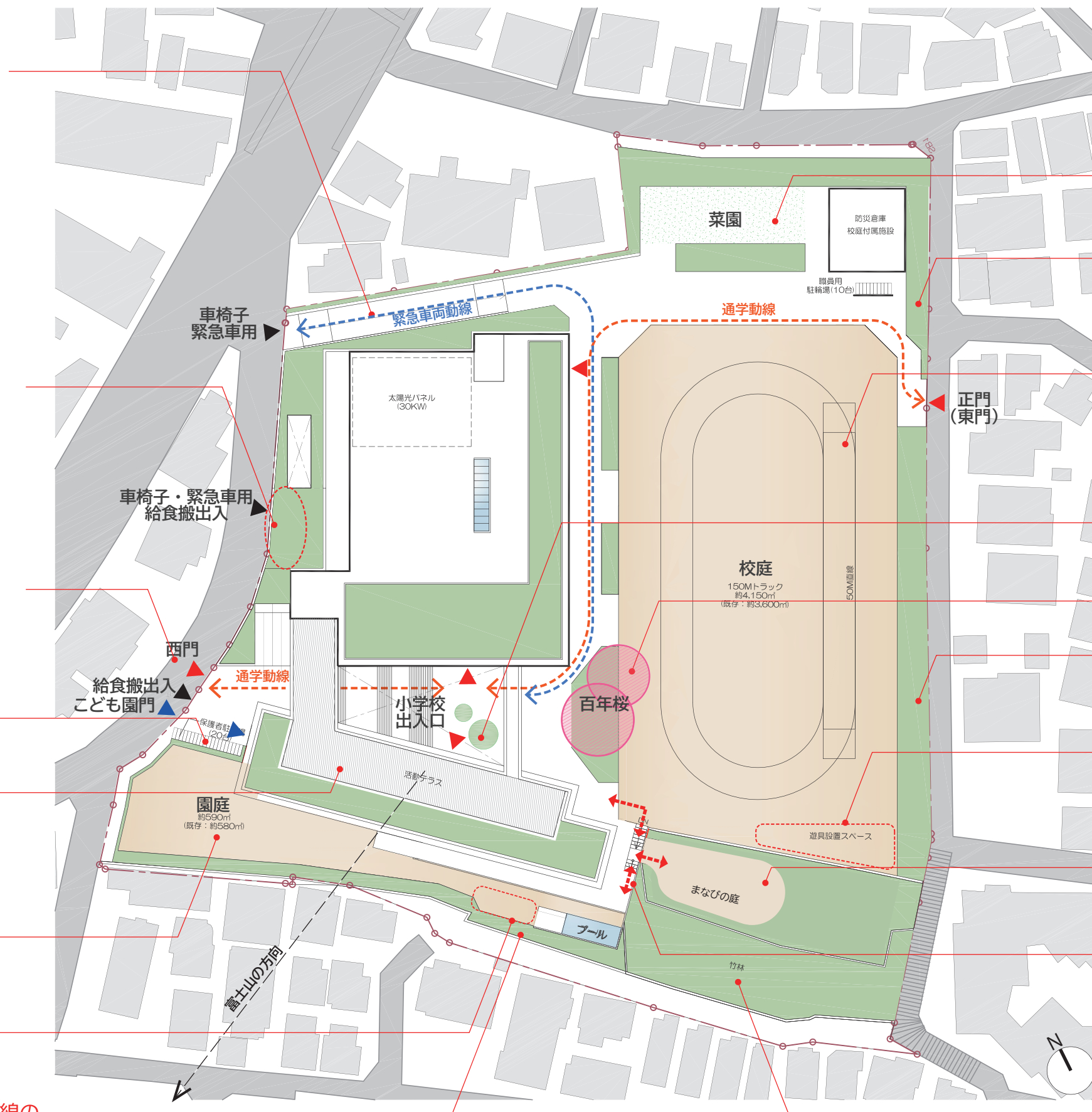
- ・お迎え用に駐輪場を整備

- ・富士山を望む活動テラス

- ・日当たりがよく園舎からの見通しの良い園庭を確保します

- ・遊具スペース

- ・園庭への日照に留意しながら、崖線のみどりの景観に配慮した外構計画



- ・耕運機が入りやすい門付近に菜園を設置

- ・近隣との緩衝となる植栽帯

- ・日当たりがよく整形な校庭を確保します

- ・現在地にマツの木を保存

- ・百年桜を望みながら登校

- ・近隣との緩衝となる植栽帯

- ・遊具スペース

- ・特別教室と連携した創作等屋外活動スペース

- ・連携・交流が可能な動線を確保します

- ・既存の樹木を極力残し既存の植生を守る国分寺崖線原風景を継承する外構計画